

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●WordPressが複数のマルウェアに同時に感染する可能性、Sucuriが注意喚起

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20230122-2569260/>
<https://blog.sucuri.net/2023/01/vulnerable-wordpress-sites-compromised-with-different-database-infections.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 1月19日(現地時間)、WordPress用セキュリティプラグイン等を提供する米Sucuri社より、WordPressサイトに不正なコードを仕込む攻撃を行う2つのマルウェアに同時に感染するケースがみられているとして注意喚起が発表されています。
- 2つのマルウェアは、アクセスしたユーザーをスポーツWebサイトにリダイレクトさせるコードを仕込むものと、検索エンジン上でカジノWebサイトが上位に表示されるよう不正なリンクを埋め込むもののからなり、それぞれは互いに無関係のものとされています。
- Sucuri社の調査では、約270のWebサイトが1つ目のマルウェアに感染、さらに約82のサイトが2つ目のマルウェアに感染したとしており、脆弱性を持つプラグインやテーマがインストールされているサイトに対し、複数の攻撃者によって別々のマルウェアに感染しないし拡散させられる恐れがあるとしています。

AUS便りからの所感等

- WordPressには機能拡張のための数多くのプラグインが提供されていますが、最初にサイトを構築してから、WordPress本体およびプラグインをアップデートしないままにしているケースは極めて危険です。
- Sucuri社のみならずいくつかのベンダーが、WordPress向けにセキュリティを向上させるプラグインを提供している他、プラグインのセキュリティアップデートや発見された脆弱性ないしその回避策について情報提供を行っています。
- セキュリティを強化するプラグイン、あるいはWordPressに特化した攻撃を遮断するWAF等を導入するとともに、管理者においては管理画面へのログインを行い、他のプラグイン・テーマおよびWordPress本体共々アップデートがリリースされていないか確認を行い、随時WordPressサイトのセキュリティレベルを保つよう努めることが肝要です。



複数のマルウェアに同時に感染するWordPressサイトが多数、要注意

掲載日 2023/01/22 13:36

著者：後藤大地

Sucuriは1月19日(米国時間)、「Vulnerable WordPress Sites Compromised with Different Database Infections」において、WordPressのWebサイトに対して展開されている2つのインジェクション攻撃型マルウェアについて伝えた。

SUCURI

Products Features Partners Resources Immediate help Login

Socialize With Sucuri
We're actively engaged across multiple platforms. Follow us and let's connect!

Search the blog

EMAIL COURSE
WordPress Security

Vulnerable WordPress Sites Compromised with Different Database Infections

JANUARY 19, 2023 • 8:00 AM (GMT-5)

Vulnerabilities within WordPress can lead to compromise, and adversaries exploit vulnerabilities to infect WordPress sites with more than one infection. It is common for out of date websites to be attacked by multiple threat actors or targeted by the same attacker using multiple different channels.

Vulnerable WordPress Sites Compromised with Different Database Infections

それぞれ無関係な目的を持っている2つのマルウェアが1つのWordPressサイトに感染していることが、Sucuriの調査により判明した。どちらもインジェクション攻撃を実行するよう設計されている。一方はユーザーをスパムのスポーツサイトにリダイレクトさせるコードを注入するインジェクション攻撃とされ、他方は違法カジノサイトを検索エンジンでのオーソリティを高めることを目的としたコードを注入するインジェクション攻撃とされている。

● 大学院の試験問題・個人情報に学生等がアクセス可能な状態…Teamsのアクセス制限設定に不備

<https://scan.netsecurity.ne.jp/article/2023/01/24/48814.html>
<https://www.u-ryukyu.ac.jp/news/40936/>



このニュースをザックリ言うと…

- 1月20日(日本時間)、琉球大学(以下・同大学)より、**クラウドサービスの設定不備**が原因で、**試験問題や個人情報が不正に閲覧可能な状態**になっていたと発表されました。
- 対象となるのは、ビデオ会議等のクラウドサービス「**Microsoft Teams**」上に保存されていた、**会議資料・大学院入試関係資料等担当者のみが共有すべきファイル304件**で、**同大学学生・職員等901名分の個人情報(氏名・メールアドレス・成績情報等)**が含まれていたとしています。
- 少なくとも2020年4月以降、**同大学からアカウントが付与されていた任意の学生・職員が情報を閲覧可能な状態**にあったとしており、**2022年10月までに設定変更**を行ったとしています。

AUS便りからの所感



- アクセス制限がなく、**ディレクトリリストの表示で容易にわかるような場所にフォームから入力されたデータを保存したり、データベースサーバーのポートが外部に公開されていたりして、認証もなしに全くの第三者が機密情報にアクセス可能な状態**にあった例は昔から枚挙にいとまがありません。
- メールではなくGoogle Drive・OneDrive・Dropbox等**オンラインストレージ**やSlack等**ビジネスチャット**で**データを共有する場面**も増えている今日にあって、データの置き場所が推測されにくいURLであるとしても決して油断せず、**必ずアクセス制限**を行い、可能であれば**非ログイン状態**あるいは**権限の低いテスト用アカウント**で**実際にアクセスしてチェック**することが重要です。

インシデント・事故/インシデント・情報漏えい

2023.01.24 Thu 08:58

入試問題も～琉球大学で Microsoft Teams 内の一部ファイルが閲覧可能

国立大学法人琉球大学は1月20日、学内で利用するクラウドサービス内に保存されていた個人情報等が含まれたファイルの一部が同学構成員に閲覧可能であったと発表しました。

これは学内で利用していた Microsoft Teams 内に保存されていた個人情報等が含まれたファイルの一部について、情報共有者の限定やパスワードの設定を行っておらず、担当者のみが共有すべき情報が学生や職員等の同学構成員に閲覧可能な状態であったというものです。

閲覧可能であったのは、担当者のみが共有すべき会議資料や大学院入試関係資料等 304件で、このうち氏名、メールアドレス、成績情報等の個人情報が含まれるファイルは273件(琉球大学学生436名、職員67名、その他398名の計901名分)。なお、最も古いファイルは2020年4月から閲覧可能であった。

● Windows 10のダウンロード販売、1月いっぱい終了…サポートは2025年まで続行

https://news.mynavi.jp/article/20230115-windows_report/
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2301/24/news099.html>
<https://www.microsoft.com/ja-jp/d/windows-10-pro/df77x4d43rkt>



このニュースをザックリ言うと…

- 1月15日(日本時間)、「マイナビニュース +Digital」にて、**Windows 10のダウンロード販売が同31日で終了**するとの告知がマイクロソフト(以下MS)よりあったことが取り上げられています。
- Windows 10 Home・Pro両方の**ダウンロードページ**では、「**このWindows 10(ダウンロード版)は、2023年1月31日に販売終了となります**」との告知文が掲載されています。
- 一方で**セキュリティ更新プログラムを提供**するサポートは、**2025年10月14日まで引き続き行われる**ことも改めて掲載されています。

AUS便りからの所感



- 10よりも前のWindowsについては、**1月10日に8.1**が、同日には**7の有償延長サポート**についても**終了**しています。
- MSが提示する、**11を実行するための最小システム要件**は概ね**2018年頃以降にリリースされたPC**とされ、**要件を満たしていないと表示されるようなPCに強引に11をインストールする方法もあるものの、その後の動作が重かったり、今後使い続けていくには得てしてスペックが不十分となったりすること**も考えられます。
- 10に対するセキュリティアップデートはまだ2年半近く提供されるとはいえ、**システム管理者においては、まだ11の導入・検証を始めていない場合はこれからでも開始し、今後導入するPCにおいて11実行最小システム要件を満たすものを選定**するよう計画されるよう強く推奨致します。

ダウンロード版Windows 10は2023年1月いっぱい終了 - 阿久津良和のWindows Weekly Report

掲載日 2023/01/15 16:00 更新日 2023/01/16 16:12

著者: 阿久津良和

読者様氏の多くはWindows 10もしくはWindows 11に移行済みと思われるが、2025年10月14日まで延長サポート期間を終えるWindows 10は市場から消失する準備を始めている。日本マイクロソフトのWindows 10 Homeダウンロードページには、「2023年1月31日に販売終了」の一文が加わった。Windows 10 Proダウンロードページも同様だ。

会社または学校のネットワークに接続する必要があり
Windows 10 Pro をご購入ください。
今すぐ購入

Microsoft 365 Personal なら、1 TB ストレージと1つでも最新版の Word、Excel、PowerPoint 等が使える月々1,284円。年間契約なら2か月分無料です。
詳しくはこちら

¥19,360 (税込)

カートに追加

Windows 10に関する詳細情報
このWindows 10(ダウンロード版)は、2023年1月31日に販売終了となります。Windows 10は、2025年10月14日まで、PCセキュリティ、ドライブウェア、その他のツールやソフトウェアから保護するために最新セキュリティ更新プログラムで引き続きサポートされます。
Windows 11の詳細を見る